

大阪大学図書館報

Vol. 15, No. 2, June 1981

目

- 寺田寅彦の一面
- 図書館システムについて
- 昭和55年度国立大学等図書館間文献複写実績について
- 海外文献複写の依頼・受付
- Dialogの使用料金決まる。
- いちょう祭展示会開催
- 教官著作寄贈図書

次

- 本館受入参考図書
- 若槻哲雄先生寄贈図書
- L L の設置と留学生のための日本語学習カセットテープ
- 会議
- 日程
- 館内の動き
- 人事

寺田寅彦の一面

須田信英

寺田寅彦は物理学者であり、同時にエッセイストとしても名を成した人である。物理学上の業績が今日どう評価されているのかは、専門の異なる私にはよくわからない。エッセイの方は、没後半世紀近くたった今日でも色あせることなく、折にふれて読み返す私の愛読書の一つである。ところで「寺田寅彦全集」に収められた、隨筆、日記、手紙を読んでいると、物理学者としての寅彦、エッセイストとしての寅彦のほかに、もう一つ「父親」としての寅彦というのが、親しみのものてる、そうして心から尊敬できる存在として浮んで来るよう思う。自分が父親となってから、一層そのような感じが強くなった。

寅彦は二回も夫人を喪い、三回結婚している。最初の夏子夫人との間に一女があり、次の寛子夫人との間に二男二女がある。寛子が亡くなった時、まだ子供たちが小さかったのである、蓄音機を買って来てかけてやり、慰めるのに懸命な寅彦の姿が日記の短い記述の中によく表れてくれ、心打られるものがある。

長男東一は東大物理学科に入学し、その意味では父と同じ道に進んだわけである。しかし東一は俗にいう総領の甚六のタイプであり、しかも自分の殻の中へ閉じこもりがちであったらしい。昭和六年、大学上級生の夏休みに、北大の中谷宇吉郎のところで実験の手つだいをした。愛弟子である中谷に東一の面倒を見てもらうに際して、寅彦の書いた手紙には、息子の性格のことから始めて、「少しは浮世の風に吹かれさせたい」から「あまり上等でない下宿

屋の一室を」予約してほしいこと、「金を持たせるとうかうかと使ってしまう赤ん坊式故」下宿料は直接下宿屋へ送り、小遣も少しづつ時々送るようにしたいなど、父親の気持が卒直に述べられている。卒業も危ぶまれる状態だったらしく、「追試験の準備のほうも時々どんなことになっているか、お心添え願われ、ば大幸と存じます。」とある。

翌七年、これも愛弟子の藤岡由夫に宛てた手紙によれば、「中谷君の方の助手の空席があるので来ないかとの事でありました。……中谷君の好意に甘える事に致しました。うまく勉強してくれればいいがと心配致しております」という次第で、東一は北大に勤めることになる。以来昭和十年末に亡くなるまで、札幌に住む東一宛に書かれた手紙には、父親としての情愛と激励とが強く込められている。一方では、東一が助手から講師になった時、初めて仕事をまとめて論文を発表した時、「このおやじも年を取って以来こんな喜ばしい思いをしたことは覚えないようです」などと、親バカともいいくべき喜びようを見せている。

三女雪子の恋愛は父親としての寅彦にとって大きな試炼だったようである。正月の輪飾りに裏白とゆずり葉と御幣を結びつける手つだいをしながら、「こんなもの、はじめから結びつけて売っていればいいと思うわ。その方が合理的だわ…。」といったとか。隨筆や日記に描かれた雪子は個性的な、なかなか思い切った言動をする女性らしく思われる。この雪子が、後の評論家で当時は思想問題で高等学校を逐われ、特高警察にもマークされていた青地晨と仲良くなった。昭和初年という時代的背景のもとでは、これは本当に大変なできごとだったであろう。この事件と、それに際しての寅彦の苦悩については、次男正二が昭和三十九年に書いた「悩んだ『娘の恋愛』」という回想によって初めて知った。正二は父寅彦のすぐれた感受性と文才をそのまま受けついだようで、この回想は父と妹に対する正しい理解と深い信頼感とにささえられた、気持のよい一文である。結果としてはこの恋愛は実り、あとにしこりを残さずにおさまったようであるが、そこへ行くまで苦悩は想像を超えるものであったと思われる。当時の手帳の一ページには、「雪子のことに関する時 Euckenの中のMischungswärmeの条を読んだ」とある。哲学書に心の支えを求めたのであろうか。

東一の勉強や就職を見守る寅彦は、息子のことをはがゆく、物足りなく思いつゝも結局はその息子に甘くなってしまう父親である。雪子の事件における寅彦は、理性的に事に処してよい結末に導いたけれども、そのかけでは思い悩むことの多かった父親である。そういうところに私は、父親としての寺田寅彦の魅力を感じるのである。

(基礎工学部教授)

図書館システムについて

今村慶之助

私は、今年4月1日付にて、本学附属図書館勤務を命ぜられ、着任いたしました。浅学非才ではありますが、大阪大学の教育・研究の発展のために、できるだけ良質な図書館サービスを提供できますよう、図書館員の一人として努力したいと存じますので、よろしくご指導ご協力を給わりますようお願いします。最近、図書館も時代の趨勢か「システム」という言葉で説明されることが多くなりました。勿論、シンボリックな意味では、電算機を用いることにあると思いますが、私がここで申し上げたいことは、外延的な拡張性、連なりという意味で、図書館活動がシステム的な発想を求められているということあります。

具体的に申しますと、第一に、文部省の計画による「学術情報システム」が動き出しつつあり、

東京の一橋講堂跡地にビルを建て、その中に「学術情報センター」を置き(計画では昭和59年始動)これを核とする電算機によるネットワークを形成することとなり、各大学図書館では、その準備作業を始めつつあります。第二には、その準備作業の一つと言えましょうが、国立大学図書館協議会は、6月に総会を沖縄で開き、そこで「国立大学図書館間相互利用実施要項」を決めることにしています。それによれば、他の国立大学図書館利用希望者のために「共通閲覧証」を発行し、いずれの国立大学図書館へも入館の道を開きます。第三には、国立、公立、私立の各大学図書館が昨年「国公私立大学図書館協力委員会」を設け、図書利用の範囲を更に拡げるために、相互に協力する方法を検討しています。第四には、外国雑誌センター館です。これは文部省が国立大学図書館の中から6図書館を選び、それぞれ担当する分野を決め、世界各国の自然科学系学術雑誌を洩れなく収集しようとするものです。本学の中島分館は、その拠点的図書館として活躍しています。第五には、年毎に激増する文献複写業務で、本学附属図書館に「複写データ処理センター」が置かれ、国立大学間の相互利用による文献複写経費の処理を一括して行うことにより、この業務の改善と推進に大きな役割を果しております。第六には、電算機によるオンライン体系の導入です。本学では、昭和47年以来本館において専用の電算機を用いて、ごく初步的なオンライン処理を進めておりますが、最近は文献検索用のJOIS・DIALOGなどの、通信回線を用いた、オンラインによる情報流通システムが稼動するようになりました。このオンラインによるシステムの利用により、日本や外国で生産されます、大量のデータベースとの連繋の道を開き、図書館サービスの可能性を拡大したことと共に、図書館内部のシステム的な改革も、必然的に求められるものであります。

このように、図書館が一つのシステムとして扱かわれるのは、ハード的な進歩の故であります。見逃せないのは、図書館界又はそれを取り囲む環境が、それぞれの学術資料を共通の資産として把え、協同利用しようとする気運の醸成によるところも大きいように思われます。図書館といたしましては、このような社会の進歩に遅れることなく、内部の処理手続きの改善に努め、体質をより健全、近代的なものとすることが必要であります。また、大学といたしましても、割拠主義に落ち入ることなく、全学的な学術情報の、効率的運用の道を進むべきであります。その結果として、図書館資料が大学の頭脳として機能し、図書館組織が大学活動の中の一つの有機体として、いきいきとした姿で利用者に奉仕ができますようにするのが私共の任務であります。今後一層努力したいと存じますので、よろしくお願いします。

(事務部長)

昭和55年度 国立大学等図書館間文献複写実績について

昭和55年度下半期(55年9月～56年3月)の文献複写処理結果を4月末に文部省及び各大学図書館等に送付した。総件数は約60,900件で、初めて半期6万件を超えた。前年度下半期は約51,000件であるから、前年同期比19%増になっている。

年度件数では昭和54年度約97,000件、昭和55年度約121,000件で前年度比24%増である。昭和55年度文献複写件数の校費、私費の割合は約7：3で、対前年度増加率では校費22%、私費30%で私費支払件数の伸びが多少高くなっている。

大阪大学における実績は下記の通りである。

1 大阪大学附属図書館

| 館名 | 依頼 | | | | | | 受付 | | | | | | 合計 | |
|---------|----------|-----|-------|-----------|-----|-------|-------|----------|-------|-------|-----------|-------|-------|--------|
| | 上期(4~9月) | | | 下期(10~3月) | | | 合計 | 下期(4~9月) | | | 下期(10~3月) | | | |
| | 校費 | 私費 | 計 | 校費 | 私費 | 計 | | 校費 | 私費 | 計 | 校費 | 私費 | 計 | |
| 本館 | 59 | 126 | 185 | 71 | 123 | 194 | 379 | 328 | 142 | 470 | 284 | 167 | 451 | 921 |
| 中之島分館 | 15 | 282 | 297 | 3 | 206 | 209 | 506 | 1,460 | 1,809 | 3,269 | 2,025 | 2,027 | 4,052 | 7,321 |
| 吹田分館 | 264 | 11 | 275 | 136 | 17 | 153 | 428 | 386 | 38 | 424 | 346 | 28 | 374 | 798 |
| 薬学部分館 | 26 | 23 | 49 | 58 | 43 | 101 | 150 | 57 | 7 | 64 | 62 | 18 | 80 | 144 |
| 人間科学部分室 | 62 | 49 | 111 | 44 | 57 | 101 | 212 | — | — | — | — | — | — | — |
| 理学部分室 | 74 | 2 | 76 | 100 | 9 | 109 | 185 | 386 | 39 | 425 | 430 | 51 | 481 | 906 |
| 基礎工学部分室 | 137 | 0 | 137 | 104 | 0 | 104 | 241 | 164 | 21 | 185 | 262 | 26 | 288 | 473 |
| 微研分室 | 8 | 10 | 18 | 6 | 12 | 18 | 36 | — | — | — | — | — | — | — |
| 産研分室 | 12 | 0 | 12 | 32 | 0 | 32 | 44 | — | — | — | — | — | — | — |
| 蛋白研分室 | 23 | 0 | 23 | 21 | 0 | 21 | 44 | — | — | — | — | — | — | — |
| 医短図書室 | 11 | 0 | 11 | 28 | 0 | 28 | 39 | — | — | — | — | — | — | — |
| 合計 | 691 | 503 | 1,194 | 603 | 467 | 1,070 | 2,264 | 2,781 | 2,056 | 4,837 | 3,409 | 2,317 | 5,726 | 10,563 |
| 昨年度合計 | 591 | 373 | 964 | 600 | 396 | 996 | 1,960 | 2,115 | 1,454 | 3,569 | 2,396 | 1,677 | 4,073 | 7,642 |

2 相手館別

| 依頼 件 | 本館 | | 中之島分館 | | 吹田分館 | | 理学部分室 | | 依頼 件 | 受付 件 | |
|-----------------|---------|----------|-----------|----------|----------|---------|----------|----------|---------|----------|--|
| | 依頼 件 | 受付 件 | 依頼 件 | 受付 件 | 依頼 件 | 受付 件 | 依頼 件 | 受付 件 | | | |
| 1 京大 図99 | 1愛媛大図44 | 1京大 医84 | 1長大医分47 | 1京大 図53 | 1徳大図32 | 1京大 図42 | 1群大工分76 | 1群大工分76 | 1 | 1京大 図99 | |
| 2 東大 図85 | 2京大 図41 | 2九大医分79 | 2京大 医39 | 2名大 図49 | 2岐大那分30 | 2名大 図17 | 2岡大 国58 | 2岡大 国58 | 2 | 2京大 国85 | |
| 3 北大 国26 | 2兵教大図41 | 3東北大医分39 | 3高医大図35 | 3北大 国36 | 3神大工分27 | 3東大 国12 | 3和専54 | 3和専54 | 3 | 3北大 国26 | |
| 4 一橋大図20 | 4徳大 国37 | 4神大医分35 | 4九大医分31 | 4九 大 国22 | 3和専27 | 4東工大図11 | 4徳大 国44 | 4徳大 国44 | 4 | 4一橋大図20 | |
| 5 東北大図16 | 5奈良大図31 | 5広大医分30 | 5富医大図30 | 5神大工分21 | 5奈 専25 | 5東北大図9 | 5金大 国39 | 5金大 国39 | 5 | 5東北大図16 | |
| 5 京大東分セ16 | 6香大 国29 | 5名大医分30 | 6徳大藏分283 | 6東大 国15 | 6筑大 国21 | 5神大医分9 | 6奈女大図38 | 6奈女大図38 | 6 | 6京大東分セ16 | |
| 7 神大六甲分14 | 7広大 国26 | 7東大 医27 | 7新大旭分245 | 7広大 国12 | 7広大 国20 | 7九 大 国8 | 7北 大 理32 | 7北 大 理32 | 7 | 7神大六甲分14 | |
| 8 九大 国12 | 8高知大図25 | 8岡大医分25 | 8名大医分242 | 8東北大図11 | 8山口大工分18 | 8神大教養分7 | 8名工大図27 | 8名工大図27 | 8 | 8九大 国12 | |
| 9 名大 国11 | 9名大 国23 | 9徳大藏分23 | 9滋医大図26 | 9神大医分7 | 9名工大図17 | 8金大 国7 | 9岐大那分23 | 9岐大那分23 | 9 | 9名大 国11 | |
| 9 広大 国11 | 9筑大 国23 | 10取大医分18 | 10取大医分213 | 10京大 医6 | 9取大 国17 | 10北大 国4 | 10滋医大図22 | 10滋医大図22 | 10 | 9筑大 国23 | |
| 上位10館が 占める割合 | 34.7% | 87.8% | 41.3% | 77.6% | 29.3% | 70.3% | 45.6% | | | | |

海外文献複写の依頼・受付

昭和55年度に文献入手のために海外に依頼した文献複写の件数は311件です。そのうち本館の依頼内訳は別表のとおりですが、最もよく申込む依頼先ベスト3はBLLD（イギリス国立図書館貸出部）、BL Reference Division（イギリス国立図書館参考部）、LC（アメリカ議会図書館）です。ご存知のようにBL LDは世界の文献、ことに逐次刊行物について迅速に、比較的安価に複写サービスを提供しています。単行書についてはLCとBL Ref. Div. が単に英語文献のみでなく世界的蔵書内容を持ち、複写サービスも安定しています。

I-1 海外複写依頼

| 区分 | 複写依頼件数 | 内訳 | | | |
|-------|--------|------|-------|-----|-------|
| | | BLLD | | その他 | |
| 本館 | 182 | 77 | 入手 53 | 105 | 入手 85 |
| | | | 謝絶 24 | | 謝絶 20 |
| 中之島分館 | 95 | 68 | 入手 61 | 27 | 入手 26 |
| | | | 謝絶 7 | | 謝絶 1 |
| 吹田分館 | 34 | 24 | 入手 14 | 10 | 入手 7 |
| | | | 謝絶 10 | | 謝絶 3 |

本館に所蔵目録を備えていますので、所蔵調査

I-2 海外文献複写依頼(本館)

| 国 名 | 依頼件数 | 内訳 | | | 謝絶 | 未着 | 入手までの日数 |
|---------|------|-----|-----|------|----|----|---------|
| | | 雑誌 | 単行書 | 学位論文 | | | |
| B L L D | 77 | 75 | 1 | 1 | 24 | 0 | 31 |
| イギリス | 35 | 10 | 24 | 1 | 2 | 8 | 83 |
| アメリカ | 33 | 21 | 12 | 0 | 11 | 2 | 97 |
| ドイツ | 14 | 7 | 5 | 2 | 2 | 0 | 46 |
| フランス | 6 | 0 | 6 | 0 | 0 | 3 | 92 |
| フィンランド | 8 | 2 | 6 | 0 | 5 | 0 | 68 |
| 韓国 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 | — |
| イタリア | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 193 |
| スウェーデン | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 36 |
| インド | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 39 |
| ソ連 | 3 | 1 | 2 | 0 | 0 | 3 | — |
| 合 計 | 182 | 121 | 57 | 4 | 44 | 19 | — |

II-1 海外文献複写受付(国別)

| 国 名 | 申込機関タイプ | | | | | | 合 計 |
|---------|-----------------|----------------|---------------------|--------------------|--------|--|-----|
| | 大 学 図 書 館 | 学 研究 機 関 | 民 間 調査 機 関 | 民間 研究 機 関 | 謝 絶 | | |
| アメリカ | 9 | 10 | 69 | 16 | 104 | | |
| カナダ | 0 | 2 | 9 | 0 | 11 | | |
| メキシコ | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | | |
| チリ | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | | |
| ブラジル | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | | |
| ドイツ | 4 | 0 | 2 | 0 | 6 | | |
| フランス | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | | |
| スイス | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | | |
| デンマーク | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | | |
| 香港 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | | |
| インド | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | | |
| インドネシア | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | | |
| オーストラリア | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | | |
| 合 計 | 17 | 13 | 85 | 16 | 131 | | |

II-2 海外文献複写受付資料タイプ別

| 資料タイプ 発行国 | 大学紀要 学位論文 | 学協会誌 | 商業誌 | 民間企業 誌 | 国公立機 関 紀要 | 合 計 |
|--------------|--------------|------|-----|-----------|--------------|-----|
| 日本国内 | 29 | 30 | 30 | 10 | 9 | 108 |
| 海外 | 5 | 1 | 1 | 0 | 0 | 7 |
| 合 計 | 34 | 31 | 31 | 10 | 9 | 115 |

イギリスではBLLDを窓口とした国内協力体制により、クーポン券払いの複写サービスが受けられますが、我が国でも今後、料金授受を含めた有効な体制を考えられてもよいのではないかでしょうか。

査・書誌事項確認が容易で複写依頼件数も多くなっています。複写依頼については原則として依頼する側で書誌事項の確認、所在調査を確実にすることが求められます。そして所在確認の典拠を明記することが、文献を確実に入手する条件です。大図書館に依頼する場合は、請求記号(Call Number)まで記入することが、なお良いようです。

海外からの文献複写の申込は昭和54年10月にChemical Abstracts Serviceの協力館となり(館報Vol.13,N.5/6 1980.2)大阪大学所蔵の逐次刊行物等が CASSI (Chemical Abstracts Service Source Index) Cumulative 1907—1979年版に掲載された昭和55年4月頃から急に増えています。申込まれた文献は日本で発行されたものが大多数を占め、その中で、大阪大学関係者の文献は11件でした。申込まれる文献の典拠の多くはCAで、所蔵についてはCASSIに依っているようです。オンライン情報検索が加わったことによって世界的規模で情報流通が活発化し、量的に拡大しています。CAに収録された日本文献(発行国)の比率は9.7%(1979)です。(CAS Today p.31) 日本は欧米の複写サービスの恩恵を受けていますが、今後、海外から日本文献の複写依頼が増えることが予想されます。しかし、現在、海外からの複写依頼を受ける日本の文献複写サービスの体制は充分とはいえません。

Dialogの使用料金決まる

前号館報でお知らせしましたように、今年4月からロッキード社のDialogシステムが本館、中之島分館、吹田分館で使用可能になりました。それにともない、料金の計算方法が下記のように決まりましたのでお知らせします。

オンライン料金 ファイル使用料（1 / 1000時間）×1.05+通信回線使用料

オフライン料金 ファイル使用料（件）×1.05

(例) CA Search \$ 70/h 10分間使用 \$1 : 225円の場合

$10\text{分} \times 60\text{秒} \div 3600\text{秒} = 0.167\text{時間}$ $(0.167\text{時間} \times \$ 70 \times 225\text{円}) \times 1.05 + (10\text{分} \times 100\text{円}) = 3,630\text{円}$

ファイル使用料は各ファイルにより異なります。×1.05は書店による5%の手数料。回線使用料は1分間100円で計算されます。従来より安くなりましたので文献調査にご利用下さい。なお、担当掛は本館参考掛(内線2355)、中之島分館参考調査協力掛(内線365)、吹田分館運用掛(内線4086)です。

いちょう祭展示会開催

大学創立を記念して「大阪大学いちょう祭」が、5月1日と、2日にかけて盛大に開催された。中之島地区では、創立50周年記念として、いちょう祭講演会・映画会等の行事があり、吹田地区、豊中地区の学内施設開放、展示会、映画会、園遊会等が開催された。

図書館では、文学部・法学部・経済学部・附属図書館共催による展示会が開かれた。この展示会は、1日(金)午前11時から、午後4時まで、本館第2自由閲覧室(3階)を会場にして、学生・父兄および教職員等、約480名の参観者があり、盛況のうちに終了した。

なお、本展示会では、おおむね、次のような貴重図書資料等を展示了。

◎文学部

1. 懐徳堂関係資料(学問所建立記録、他23点)
2. 考古学資料(大阪府下の古墳の出土品)
3. 長崎絵
4. 仏説仏名経(卷第十五)一巻

◎法学部

1. 林子平「海国兵談」(1791年)
2. 「新律綱領、改定律例対比合巻」(1874年)
3. 西周「万国公法」(1868年)
4. ヨーロッパ法学上の古典四種:(1) ルソー「社会契約論」(1762年の初版本)(2) モンテスキュー「法の精神」(1749年)(3) ボーダン「共和国論」(1577年)(4) アラヤ「戦争の法と義務および軍隊の規律について」(1597年)
5. その他の資料(法医学書他5点)

◎経済学部

1. 豪商の記録(鴻池善右衛門家旧蔵):(1) 加賀藩の掛合控(2) 広島藩の掛合控
2. 大阪三郷の水帳
3. 堺県の高札(慶応4年3月)柏井義夫家旧蔵

◎図書館

西洋古版アジア図(ブラウ父子「シナ図」ほか19点)

◎いちょう祭委員会

本学関係の文化勲章受章者(13人)の業績顕彰

教官著作寄贈図書**——本館——**

三輪 正 (文・教授)

身体の哲学—意味・言葉・価値一
正著 (行路社 昭52)

生命の哲学 三輪 正著

(北樹出版 昭56)

田中 裕 (文・教授)

中世文学論研究 田中 裕著
(塙書房 昭55)

熊谷開作 (法・教授)

山中永之佑 (法・教授)

日本法史年表 熊谷開作、山中永之佑
他著 (日本評論社 昭56)

大峯 顯 (教・教授)

鳥道 大峯あきら著 (卯辰山文庫 昭56)

砂川重信 (教・教授)

物理入門 上・下 砂川重信著
(岩波書店 昭56)

山口堯二 (教・助教授)

古代接続法の研究 山口堯二著
(明治書院 昭55)

波田節夫 (言・教授)

吉田正勝 (言・教授)

中埜芳之 (言・助教授)

宫廷社会 ノルベルト・エリアス著 波田
節夫、吉田正勝、中埜芳之〔共〕訳
(法政大学出版局 昭56)

石川 實 (言・教授)

シラーの幽霊劇 石川 實著

(国書刊行会 昭56)

渡辺香根夫 (医短・助教授)

現代フランス語表現辞典 Perreau, R.
Langford, M.著 渡辺香根夫他編訳
(大修館 昭56)**——理学部分室——**

桑田敬治 (理・教授)

電子スピニ共鳴入門 桑田敬治、伊藤公
一著 (南江堂 昭55)

新村陽一 (理・教授)

配位立体化学 新村陽一著 改訂版
(培風館 昭56)**——基礎工学部分室——**

浜川圭弘 (基・教授)

80年代太陽光発電の開発 浜川圭弘編
著 (日刊工業新聞社 昭56)**——中之島分館——**

須田正己 (医・名誉教授)

栄養・代謝・リズム・新しい方法論をめ
ざして 須田正己著 (医歯薬出版 昭56)

河村洋二郎 (歯・教授)

Chronicle of the 58th IADR General
Session, 1980 ed. by Kawamura, Y.
(58th International Association for Dental Research 1981)

岡田 宏 (歯・教授)

シュルーガー最新歯周治療学 Schlu-
ger, Saul 他著 岡田 宏他訳
(医歯薬出版 昭56)**本館受入参考図書**

(昭和56年1月～3月)

◇ 総記 ◇Directory of information sources in
Japan 1980. Ed. Jpn Special Li-
braries Association.
(Nichigai Associates)A Brief guide to centres of interna-
tional lending and photocopying 1979.
2d ed. (IFLA)Index bio-bibliographicus notorum ho-
minum. Pars C/Vol. 18-19. Ed. by
Jean-Pierre Lobies. (Biblio)雑誌記事索引 人文・社会編 累積索引版
1948～1954年 2 法律； 4 産業；

6 労働 (日外アソシエーツ)

Great Soviet encyclopedia. Vol.24.
(Macmillan)国際学術団体総覧 日本学術会議事務局編
(大蔵省印刷局)全国各種団体名鑑 '80 上・下巻
(ミカミマーケティング・インスティチュート)**◇ 歴史 ◇**The Cambridge encyclopedia of archae-
ology. ed. Sherratt, A.

- (Cambridge University Press)
 International bibliography of historical sciences. Vol.45—46 1976—1977.
 (Saur)
- The Combined retrospective index set to journals in history 1838—1974.
 Vol. 1—11. (Carrollton)
- 日本史小百科 9 遊女 西山松之助編；
 10 農村 大石慎三郎編；11 工芸 達藤元男、竹内淳子著；14 動物 岡田章雄著；15 学校 海原徹著；17 家具 小泉和子著 (近藤出版社)
- The International who's who 1980—81.
 44th ed. (Europa Pub.)
- Wer ist wer ? the German who's who.
 von Habel, W. 20 Ausg.
 (Max Schmidt-Romhild)
- Dizionario biografico degli Italiani.
 Vol.22 (Enciclopedia Italiana)
- The Combined retrospective index set to journals in political science 1886—1974. Vol. 1—8. (Carrollton)
- ◇ 社会科学 ◇
- 日本政治学文献目録 No. 10(1974)—No.11
 (1975) 日本政治学会編
 (東京大学出版会)
- 日本歴代知事 1 (歴代知事編纂会)
- 日本外交史関係文献目録 [正]、追補篇 英修道編 (慶應義塾大学法学研究会)
- 日本法史年表 熊谷開作 [他] 編
 (日本評論社)
- 戸籍実務六法 昭和56年度版
 (日本加除出版)
- 経済学用語の基礎知識 荒憲治郎 [他] 編
 増補版 (有斐閣)
- 消費者物価指数のしくみと見方 総理府統計局編
 (日本統計協会)
- The Bankers' almanac and year book
 1979—80. 135th.
 (Thomas Skinner Directories)
- 税務百科大辞典 1—5 金子 宏編
 (ぎょうせい)
- 昭和国勢総覧 上・下 (東洋経済新報社)
- The Combined retrospective index set to journals in sociology 1895—1974.
 Vol. 1—6. (Carrollton)
- 世界教育事典 新井郁男 [他] 編 増補改訂版 (ぎょうせい)
- The Grants register 1979—1981. Ed. Turner, R. (Macmillan)
- ◇ 自然科学 ◇
- World scientific and technical literature. Vol. 9.
- (Academy of Sciences of the USSR)
- 学術用語集 化学編 増訂版 (日本化学会)
- 気象ハンドブック 同編集委員会編
 (朝倉書店)
- 気象用語集 英和・和英・仏和 田島成昌
 編 改訂版 (成山堂書店)
- 学術用語集 気象学編 (日本気象学会)
- 日本の活断層：分布図と資料 活断層研究会編
 (東京大学出版会)
- 基礎生物学ハンドブック 大沢 渚 [他] 編
 (岩波書店)
- 原色日本植物図鑑 木本編 1—2 北村四郎、
 村田 源共著 改訂版 (保育社)
- ◇ 工学・技術 ◇
- Encyclopedia of computer science and technology. Vol. 15 (Dekker)
- JECCコンピューター・ノート 1980年版
 (日本電子計算機)
- 世界の大発明・発見・探検・総解説 長谷川国雄編
 (自由国民社)
- 土木工学ハンドブック 上、中、下 土木学会編 新版
 (技報堂)
- 公害実務小六法 昭和55年版 環境法令研究会編
 (新日本法規出版)
- 公害関係法令・解説集 昭和55年版
 (ぎょうせい)
- 公害健康被害補償法令集 昭和55年版 環境庁編
 (中央法規出版)
- 機械の事典 北郷 薫[他]編集 (朝倉書店)
- 学術用語集 原子力工学編 (日本原力学会)
- 学術用語集 電気工学編 増訂版
 (電気学会)
- ◇ 芸術 ◇
- 中国書道事典 中西慶爾編 (木耳社)
- Baker's Biographical dictionary of

- musicians. 6 th ed. by Slonimsky,
N. (Schirmer Books)
- 日本の楽器 田辺尚雄著 (柏出版)
- ◇ 語 学 ◇
- ラルース言語学用語辞典 J. デュボワ他 著
伊藤 晃〔他〕編訳 (大修館書店)
- ラテ語一ベトナム語—日本語語彙 新谷
忠彦著 (東京外国语大学)
- 角川小辞典 2. 漢字の用法 武部良明著、
3. 漢字の読み方 武部良明著、7—8.
基礎日本語 森田良行著、10. 日本語の
語源 田井信之著、11. 比喩表現辞典
中村明著、12. 擬音語・擬態語辞典 浅
野鶴子編、18. 漢文読解辞典 柳町達他著、
20. 中国故事成語辞典 加藤常覧、水上静
夫著、21. 中国故事名言辞典 加藤常覧、
水上静夫著、26. 外来語の語源 吉沢典男、
- 石綿敏雄著、27. 図解外来語辞典 吉沢典男
著、29. 日本語の表記 武部良明著
(角川書店)
- たべもの語源辞典 清水桂一編
(東京堂)
- 新日漢辞典 大連外国语学院編
(遼寧人民出版社)
- The Oxford universal dictionary ill-
ustrated; on historical principles.
rev. & ed. by Onions, C. 3rd ed.
(Clarendon)
- 英語基本動詞辞典 小西友七編 (研究社)
- 現代和独辞典 ロベルト・シンチンゲル
〔他〕共編 (三修社)
- Oxford Latin dictionary. Fascicle 7.
Ed. by P.G.W. Glare (Clarendon)

若槻哲雄先生寄贈図書

——明治末・大正期の哲学・倫理学文献——

駒場の東大教養学部に、かつて一高であったころ倫理講堂と呼ばれていた建物があった。それは東大の教養学部になってからは五大とか六大とか称される大教室に変り、私などはそこで社会学などいわゆる教養のマスプロ授業を受けたのであるが、以前、倫理講堂と呼ばれていた時代、そこでは天野貞祐、安倍能成といった校長による倫理学の講義がなされたのだと聞いた。今回、前総長若槻哲雄先生より寄贈された、御父君道隆先生の御蔵書を拝見し、私が直ちに思ったのは、旧一高の倫理講堂とそこで倫理学を講義する哲学者の姿であった。おうかがいすると、やはり道隆先生も東大の哲学科を卒業され、その後、各地の旧制高等工業で教育にあたられ、最後は台南高等工業の校長をなさっておられたという。寄贈された御蔵書はまさしく先生のそうした御経歴を映し出している。それは主として明治30年以降の、西洋哲学の移入、紹介にあたり、日本の近代アカデミズムにおける哲学研究の基礎をなした人々の著書であり、そして恐らくは先生が倫理学講義に際して参照されたと思われる倫理学の文献である。そのうちには、朝永三十郎の『哲学辞典』(1905)、井上・元良・中島共編の『哲学字彙』(1912)など近代の西洋哲学受容史を見る上で興味ある文献がある。私は今回寄贈された若槻先生の御蔵書や本館に収蔵されている旧大阪高等学校の蔵書等によって、日本の近代アカデミズムにおける哲学、倫理学関係の文献、さらに国民道德論関係の文献を收集、整理する必要があることを痛感している。なお今回寄贈された図書は271冊。哲学、倫理学以外に、心理学、仏教学関係、欧米の学校教育をめぐる英語文献等を含んでいる。

(文学部助教授 子安宣邦)

L L の設置と留学生のための日本語学習力セットテープ

図書館は外国語学習のために英、独、仏、露、中国語等の語学カセットテープを所蔵し、利用に供していますが、語学学習カセットテープを聞くための L L (Language Laboratory) を 1 階に設置しました。利用時間は 9 時から閉館 30 分前までです。1 階閲覧カウンターで手続きをしてご利用下さい。なお、海外から大阪大学に留学されている学生、研究生と外国人教師の人達のために下記の日本語学習カセットテープを購入しておりますのでご利用下さい。

1. Nihongo no Kiso (日本語の基礎) 英語版、中国語版、インドネシア語版、タイ語版、スペイン語版、アラビア語版、ペルシャ語版、韓国語版、ローマ字版、漢字かなまじり版、文法解説書、学習指導書 Association for Overseas Technical Scholarship (海外技術者研修協会) 1972—1979.

内容は、日常生活に必要な会話を、基本文法と語彙の学習を通じて習得させることを目的としたもので、日本語の読み書きについては含んでいません。

2. Japanese for beginners (日本語入門) ed. by. Yasuo Yoshida Gakken 1976.
日常会話の入門書。テキストはローマ字と英語で書かれています。
3. Japanese for Today (あたらしい日本語) Gakken 1973.
日本語の会話、読み書きを学ぶのに良い。テキストは漢字かなまじり文、ローマ字、英語で書かれています。

会議

——附属図書館吹田地区運営委員会—— 56.2.25 (水) 10.30~11.40 (吹田分館会議室)

協議事項 現分館長三川 禮教授の任期満了(昭和56年3月31日)にともない、次期分館長候補者の選考を「規程」にもとづいて行った結果、工学部、産研および溶研より推薦のあった工学部建築工学科教授岡田光正を選出した。

——附属図書館豊中地区運営委員会—— 56.3.11 (水) 13.40~15.00 (本館大会議室)

報告事項 1. 書庫棟増築工事進行状況について 2. ブックティテクション設置について 3. 本館に端末機を設置、情報検索サービス開始について 4. 身障者対策工事について 5. 教養図書の選定について説明があった。

協議事項 1. 現委員長経済学部渡辺太郎教授の任期満了にともない、選挙方式により法学部矢崎光圀教授が選出され次期委員長に決定した。2. 昭和56年度基本参考図書の選定及び要求順位について、種々協議の結果各部局要求順位上位 2 点を要求することとなった。

——分館長会議—— 56.3.11 (水) 15.25~17.00 (館長室)

協議事項 1. 昭和56年度図書館事業費予算要求(案)について、種々協議の結果一部訂正し、ほぼ原案どおり要求することとなった。

——図書館委員会—— 56.3.20(金) 15:00~16:40 (本館大会議室)

報告事項 1. 昭和55年度図書資料費(大型コレクション)の経過について 2. 昭和55年度外国雑誌購入費の経過について 3. 昭和56年度基本参考図書の選定及び要求順位について 4. 中之島分館に医学情報課長、参考調査協力掛の新設について 5. 貴重図書の調

査依頼について等の説明があった。

協議事項 昭和56年度図書館事業費予算要求順(案)について、種々協議の結果一部訂正しほぼ原案どおり承認された。

日 程

| | | |
|------------|--|------------|
| 56. 2. 25. | 附属図書館吹田地区運営委員会 | (吹田分館) |
| 56. 3. 11. | 附属図書館豊中地区運営委員会 | (本館) |
| 56. 3. 11. | 分館長会議 | (館長室) |
| 56. 3. 17. | 生物系図書館企画小委員会 | (中之島分館) |
| 56. 3. 20. | 図書館委員会 | (本館) |
| 56. 3. 26. | 学術情報センターシステム説明協議会 | (国立教育会館) |
| 56. 4. 8. | 昭和55年度第3回近畿地区国公立大学図書館協議会企画委員会 | (京都大学) |
| 56. 4. 8. | 昭和55年度第3回近畿地区国立大学図書館協議会 | (京都大学) |
| 56. 4. 21. | 近畿地区国立大学図書館協議会B地区図書館事務打合せ会議 | (中之島分館) |
| 56. 4. 30. | 第13回国公私立大学図書館協力委員会文献複写委員会 | (関西大学) |
| 56. 5. 14. | 昭和55年度第4回国立大学図書館協議会常務理事会 | (東京大学) |
| 56. 5. 14. | 国立大学図書館協議会第2部会 | (東京大学) |
| 56. 5. 15. | 昭和55年度第3回国立大学図書館協議会理事会及び国立大学図書館協議会受賞者選考委員会 | (東京大学) |
| 56. 5. 16. | 第6回国公私立大学図書館協力委員会 | (東京都立大学) |
| 56. 5. 22. | 昭和56年度国立大学附属図書館事務部課長会議 | (東京医科歯科大学) |

館内の動き

大阪大学附属図書館業務機械化検討委員会

第10回（3月20日）を開催、前回の検討結果に対する各委員から意見があり、機種の更新と新システム等に対する問題提起など種々意見の交換があった。

第11回（4月15日）新任の今村部長、前田医学情報課長を交えて現在までの検討結果をもとに種々意見の交換があり、今後問題点があればそのつど検討することとなった。

障害者のための設備・施設

障害者のための施設として、本館職員通用口寄りに、クルマ椅子が使用できるスロープと、自動ドアを設置した。また、障害者用の便所（男子用）が旧館1階（西玄関寄り）に設けられています。その他、視覚障害者のための図書資料として、点字図書（新明解国語辞典ほか約45点）が所蔵されました。

ブックディテクションの設置

本館では、本年4月から、東・西各1個所に「ブックディテクション・システム（開架図書管理システム）」を設置しました。これは、図書を良好な管理のもとで、有効な利用を図るためのものです。図書の館外貸出希望者は、必ず、正規の貸出手続をすませてご利用下さい。

図書館オリエンテーション

4月10日入学宣誓式当日、山田館長により新入生を対象とした図書館概要についてのオリエンテーションが行われた。4月15日から1週間は館内オリエンテーションがあり閲覧、参考部門から図書館利用の説明と館内案内を行った。参加者数は326名であった。また、5月25日から4日間、学部別に文学部、法学部、経済学部の学部進学生を対象に文献調査資料の紹介と文献の収集についてのオリエンテーションを行なった。

附属図書館事務部組織変更

昭和56年4月1日付けで医学情報課を設置した。

昭和56年4月1日付けで医学情報課参考調査協力掛を設置した。

人 事

来訪者

56. 3. 11. 中国日本語教師学習参観団、140名

職員の移動

| | | | |
|------------|-----|-------|------------------------------|
| 56. 2. 1. | 採用 | 山中 恵子 | 整理課受入掛事務補佐員 |
| 56. 3. 31. | 辞職 | 橋口 健 | 中之島分館運用掛事務補佐員 |
| 56. 3. 31. | 〃 | 野中美智子 | 中之島分館受入掛事務補佐員 |
| 56. 3. 31. | 〃 | 春木千代子 | 中之島分館受入掛事務補佐員 |
| 56. 3. 31. | 〃 | 印藤千鶴子 | 吹田分館運用掛事務補佐員 |
| 56. 4. 1. | 配置換 | 東 米吉 | 千葉大学附属図書館事務部長（事務部長） |
| 56. 4. 1. | 昇任 | 今村慶之助 | 事務部長（筑波大学附属図書館管理課長） |
| 56. 4. 1. | 配置換 | 前田 正三 | 医学情報課長（広島大学附属図書館整理課長） |
| 56. 4. 1. | 昇任 | 松浦 正 | 兵庫教育大学図書課長（整理課課長補佐） |
| 56. 4. 1. | 〃 | 門田 泰典 | 整理課課長補佐（吹田分館運用掛長） |
| 56. 4. 1. | 〃 | 宮岸 朝子 | 医学情報課参考調査協力掛長（中之島分館運用掛員） |
| 56. 4. 1. | 〃 | 故選 義浩 | 兵庫教育大学図書課閲覧係長（整理課受入掛員） |
| 56. 4. 1. | 採用 | 平井 典子 | 医学情報課目録掛事務補佐員 |
| 56. 4. 1. | 〃 | 賀川 洋子 | 医学情報課受入掛事務補佐員 |
| 56. 4. 1. | 〃 | 長島 史佳 | 医学情報課運用掛事務補佐員 |
| 56. 4. 1. | 採用 | 長森 道代 | 閲覧課閲覧第一掛事務補佐員 |
| 56. 4. 16. | 〃 | 山中 弘子 | 吹田分館運用掛事務補佐員 |
| 56. 4. 28. | 辞職 | 今井 俱子 | 閲覧課閲覧第一掛事務補佐員 |
| 56. 5. 1. | 採用 | 城 宣子 | 医学情報課目録掛事務補佐員 |
| 56. 5. 11. | 配置換 | 矢崎 邦子 | 閲覧課閲覧第一掛事務補佐員（医学情報課目録掛事務補佐員） |